

修了生の活躍事例

就職に強い四国能開大への進学が将来の幅を広げてくれました！

小さいころからものづくりに興味があり、高校の進路指導の先生の勧めで、四国能開大の電気エネルギー制御科（専門課程）に進学しました。入校の決め手は何より、4年生の国立大学と比べ実験や実習時間が多く、将来の仕事と直結した専門知識や技術を多く学べるということです。

応用課程の生産電気システム技術科では自然エネルギー利用技術や工場自動化技術を学び、最初は苦手だった電気・電子系の授業も少人数訓練と担当指導員の分かりやすい指導のおかげで、今では一番好きな分野となりました。

四国能開大に入校し、自分の強みを見つけられたことで、今の仕事に出会えることができました。

大倉工業株式会社

宮田 寛之さん (26)

四国職業能力開発大学校
応用課程

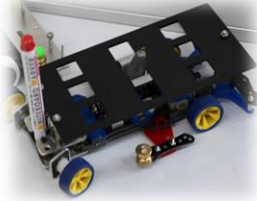
生産電気システム技術科

令和3年度 修了



開発課題のテーマ「ロボスタ設計（タグチメソッド）の教育教材開発」

ロボスタ設計とは、ノイズの影響を受けにくい設計です。四国能開大のロボスタ設計講座に使用されている教育教材では、制御因子間の交互作用があり、人為的ミスがあるという問題がありました。本開発では、上記の問題を解決した、既存の教材に代わって講座で使用できる教材の開発を行いました。



製作した教育教材の車体部分

将来は、頼れるリーダーになりたいと思っています！

まずは現場での経験を積み、生産設備や受変電設備に関する知識と保守スキルを深めていきたいです。トラブルシューティングのエキスパートとしてだけでなく、四国能開大で学んだ技術を生かし、技術革新で生産性向上をリードする頼れるリーダーになりたいです。

就職先企業での活躍

宮田 寛之さんの業務

設備管理課に所属し、生産設備の定期メンテナンスや改良、受変電設備の点検を担当。設備の信頼性を高め、安全かつ効率的な生産環境を維持するために日々努めています。

業務を行う宮田さん▶



上司からの声 設備管理課 安藤 啓次

四国能開大で学んだ技能・知識を生かして、制御系を中心とした電気設備の保全業務に上手く対応しています。現在、第3種電気主任技術者の資格取得等、自己スキル向上を図っています。

今後も高い能力が要求される重要な業務を担い、成長した姿を期待しています。



夢がある。技術がある。未来ができる。



大倉工業 (香川県丸亀市)

各種ポリエチレン製品及びポリプロピレン製品の製造販売、光学機能性フィルム等の製造販売、パーティクルボード、加工ボード及び加工合板等の製造販売

現在、四国能開大の修了生11名が活躍



産業・自動車



食品



医療・医薬



一般包装